

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【公開番号】特開2004-137054(P2004-137054A)

【公開日】平成16年5月13日(2004.5.13)

【年通号数】公開・登録公報2004-018

【出願番号】特願2002-304619(P2002-304619)

【国際特許分類第7版】

B 6 5 H 5/22

B 6 5 H 5/38

B 6 5 H 7/02

G 0 7 D 9/00

G 0 7 D 9/04

【F I】

B 6 5 H 5/22 A

B 6 5 H 5/38

B 6 5 H 7/02

G 0 7 D 9/00 4 1 6 C

G 0 7 D 9/04 4 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月24日(2005.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

紙葉類を搬送面に沿って搬送する搬送手段と、

前記搬送面に対向して設けられ、前記搬送手段によって搬送される紙葉類を検知する検知手段と、

この検知手段の少なくとも紙葉類導入側に設けられ、前記搬送面を介して対向配置され一対のガイド部材を有し、前記一対のガイド部材の一方は固定的に設けられ、他方のガイド部材は前記一方のガイド部材に対して接離する方向に移動自在に設けられるガイド手段と、

前記一対のガイド部材の対向面に設けられたノズルと、

前記一対のガイド部材の他方を前記一方のガイド部材に向かって弾性的に付勢する付勢手段と、

前記一対のガイド部材に圧縮気体を供給して前記ノズルから前記一対のガイド部材間に噴出させることにより前記他方のガイド部材を前記付勢手段の付勢力に抗して移動させて前記一対のガイド部材間に隙間を形成させる気体供給手段と

を具備することを特徴とする紙葉類検知装置。

【請求項2】

前記ガイド手段は前記検知手段の紙葉類導入側及び搬出側にそれぞれ設けられることを特徴とする請求項1記載の紙葉類検知装置。

【請求項3】

前記一対のガイド部材の対向面に前記紙葉類の搬送方向及びこの搬送方向と直交する方向にそれぞれ一定の間隔を存して設けた複数の溝部と、

前記一対のガイド部材の対向面の少なくとも前記複数の溝部によって囲まれる部位にそれぞれ設けられた複数のノズルと、

を具備することを特徴とする請求項1記載の紙葉類検知装置。

【請求項4】

前記複数のノズルは前記紙葉類の搬送方向と平行な線上に列状に配置され、その最外側に位置するノズル列間の間隔は、前記紙葉類の搬送方向と直交する方向の幅寸法よりも広くされたことを特徴とする請求項3記載の紙葉類検知装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、請求項1記載のものは、紙葉類を搬送面に沿って搬送する搬送手段と、前記搬送面に対向して設けられ、前記搬送手段によって搬送される紙葉類を検知する検知手段と、この検知手段の少なくとも紙葉類導入側に設けられ、前記搬送面を介して対向配置される一対のガイド部材を有し、前記一対のガイド部材の一方は固定的に設けられ、他方のガイド部材は前記一方のガイド部材に対して接離する方向に移動自在に設けられるガイド手段と、前記一対のガイド部材の対向面に設けられたノズルと、前記一対のガイド部材の他方を前記一方のガイド部材に向かって弾性的に付勢する付勢手段と、前記一対のガイド部材に圧縮気体を供給して前記ノズルから前記一対のガイド部材間に噴出されることにより前記他方のガイド部材を前記付勢手段の付勢力に抗して移動させて前記一対のガイド部材間に隙間を形成させる気体供給手段とを具備する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】